



村報

もうすぐ 4月号

2025
No.901

卒業おめでとう！～輝かしい未来に向けての旅立ち～

CONTENTS

- 諸塙からの旅立ち 2~3
- 一般社団法人ハチハチの活動に迫る!! 6
- 諸塙村の令和7年度予算 14~15
- 学校だより 22~23



諸塙からの旅立ち

~15の春を迎えた私たちの思い~

3月16日、9名の生徒が諸塙中学校を卒業し、それぞれの旅立ちを迎えるました。

そんな卒業生の皆さんに諸塙村へメッセージをくれました。先生方からは、卒業生へはなむけの言葉もいただいている。

諸塙から旅立つ9名の皆さん、ふるさと諸塙を愛してくれてありがとうございます！ふるさとで培ったことを力に、今後の活躍を期待しています。村民みんなであなたたちの帰る場所を守っていきますね。



奈須 朱莉(川の口)

村の皆様15年間お世話になりました。村民の方々が優しく接してくれたので、毎日楽しく過ごすことができました。諸塙村を出ても、諸塙村で作ったたくさん思い出を大切に過ごしていきたいです。



田吉未来翔(滝の下)

村民の皆様へ卒業まで支えてくださりありがとうございました。諸塙で育ったことを誇りに新しい場所でも頑張ります。そして大人になったら諸塙に恩返しをして、もっといい村になるように貢献していきたいです。



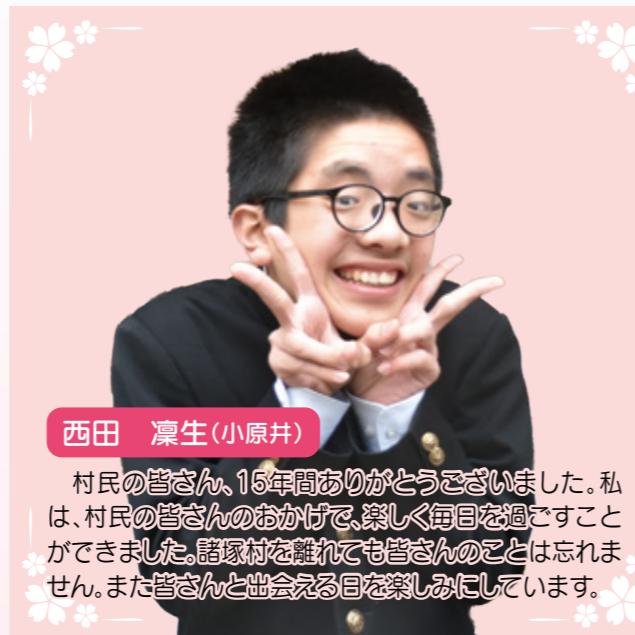
甲斐悠太朗(塚原)

豊かな自然にあふれた諸塙の温かい村民の皆様に15年間育てていただき、ありがとうございました。親元を離れても、高校生活を頑張りたいと思います。これからも温かい応援をよろしくお願いします。



西山 慶(川内)

今まで私達を支えてくださりありがとうございます。諸塙村だからこそ大きく成長する事ができた15年間でした。村外に行っても諸塙村を誇りに思い、諸塙村に恩返しかができるように一生懸命生きていきたいです。



西田 凜生(小原井)

村民の皆さん、15年間ありがとうございました。私は、村民の皆さんのおかげで、楽しく毎日を過ごすことができました。諸塙村を離れても皆さんことは忘れません。また皆さんと会える日を楽しみにしています。



黒木 陽斗(家代)

15年間諸塙村で育ってきてとても楽しかったです。中学生になり野球部に所属をしていた時に、「中体連や県大会優勝」など応援の声を頂いて、とても嬉しかったです。高校で栽培について学び、諸塙村に帰って来ます。



川崎 菜菜(家代)

私は15年間でかけがえのないものが詰まった日々を送ることができました。それは出会う人や環境に恵まれていたからだと思います。これからは私が周囲のために貢献していきます。本当にありがとうございました。

土谷 敬子 校長

卒業おめでとうございます。毎日の笑顔とエネルギー溌溊な行動力に触れることができた皆さんとの日々でした。ありがとうございます。

諸塙中学校で培った、そして地域、保護者の皆様から教えていただいたことを自信として羽ばたいてください。いつでも帰ってきて顔を見せてくださいね。

3年生 副担任 日高 佑美

ご卒業おめでとうございます。元気いっぱい、明るいいっぱいの卒業生のみなさん。

これまで15年間たくさんの人々に支えられてきたことに感謝し、それぞれの道を歩んでいってください。いつでも、「当たり前」にあるものに「有り難い」と感じができる心をもって、「人を大切に」してください。いつまでも応援しています。

3年生 担任 藤島 大樹

個性があふれた絆の深い9名のみなさん、ご卒業おめでとうございます。あなたたちの担任をさせてもらえたこと、本当に幸せでした。

これから、それぞれの『正解』を求めて、進んでいくことになりますね。『辛い』とき、そこに何か『一つ』加えれば『幸い』に変えられます。ぜひ、幸せになってくださいね。

3年生 副担任 一瀬 明日香

ご卒業おめでとうございます。とても仲が良く、いつも笑顔の絶えない3年生のみなさん。何事にも一生懸命取り組むみなさんの姿に、私もたくさんの場面で元気や勇気をもらっていました。

これからは自分の目標や夢に向かって、元気に羽ばたいてくださいね。みなさんのことと、いつまでも応援しています。

卒業証書



佐藤 七瑛(小原井)

今までありがとうございました。15年間、沢山の方々に支えられて過ごしてきました。みなさんの温かさを中々感じることができなくなりますが、諸塙を離れても忘ることはありません。本当にありがとうございました。



黒木梁太郎(家代)

私は諸塙に生まれて本当に良かったと思います。いつでも優しい村民の方々のお陰で成長できました。諸塙で身につけたことは将来多くのことで役立つと思います。これからは諸塙を離れることになりますが頑張ります。

診療所 竹脇雄太副所長 退任のご挨拶

この度、3月一杯を持ちまして診療所を退任することとなりました。令和4年4月から3年間に渡り諸塚村の医療に携わらせていただきました。その間、多くの皆様の暖かいご支援ご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。3年間大変お世話になりました。ありがとうございました。(診療所)

諸塚村女性連絡協議会の解散について

諸塚村女性連絡協議会(諸塚村婦人連絡協議会)は、令和7年3月31日をもって解散しました。昭和24年の戦後まもない厳しい生活の中で先輩方が立ち上げられました。75年間という長い間続けてこられたのも、これまで支えていただきました各関係機関の方々、歴代会長及び役員のご尽力の賜物であり、婦人会活動に協力をいただいた会員の方々、そして地域や家族の理解のお陰と心から感謝を申し上げます。

今回解散に至るまで、関係機関や役員との協議をはじめ、様々な検討を行ってきましたが、苦渋の選択であったことにご理解をいただきたく思います。

これからは、各公民館の一員として、女性の立場から役割をしっかりと果たしながら、公民館活動を盛り上げていきたいと思います。長い間のご支援ご協力誠にありがとうございました。

最後になりますが、75周年記念誌「あゆみ」の発行をもちまして解散の報告とさせていただきます。

諸塚村女性連絡協議会 会長 吉永 晃子

自公連だより

3月14日(金)に令和6年度第12回(3月)公民館長会と第2回役員会を開催しました。

*館長会

関係機関連絡事項

◎日向警察署諸塚駐在所:甲斐譲司所長とJAみやざき諸塚支店:黒木美恵子支店長が異動の報告と任務中の村民への感謝の言葉を述べられました。また、耳川広域森林組合諸塚支所:藤本支所長より、先の総代選出についてお詫びがありました。

1. 総務政策課から

令和7年度公民館視察研修時バス利用について該当公民館の確認と手続きの説明

2. 企画創生課から

令和7年度諸塚村人会出席計画と出席のお願い

⇒ 館長会より要望:それぞれの村人会の出席者名簿を作成して欲しい。

3. 住民生活課から

①ごみ収集計画表の配布
②民生委員・児童委員候補者推薦依頼(〆切:5月末日)

③敬老会・金婚対象調査依頼
敬老会を4月中に計画している公民館は、早めに実施予定調査表の提出を。

4. 産業戦略課(新価値創造室)から
クヌギ皮活用勉強会についてお知らせ

5. 教育委員会から
①公民館事務報償費・振興補助金について(総務政策課・教育委員会より)

対象者等には通知済み、振込の確認を。

②郷土芸能保存活動事業補助について
対象は県指定及び村指定無形民俗文化財で

代表者、担当者へ実施報告書の提出依頼済み。

③第30回宮崎国際音楽祭

ふれあいプログラム 三浦文彰「コンサート・キャラバン」の開催について、実行組合でのチラシの回覧を依頼。

役員会

〈協議〉

1. 令和6年度事業実績及び収支決算(見込)について

原案通り承認。

吉永女協会長よりあいさつ。

2. 令和7年度 活動方針(案)について

原案通り承認。

3. 令和7年度 事業計画(案)及び予算(案)について

原案通り承認。

4. 令和7年度 ふれあいもろつか村民大会について

12月7日(日)開催。内容については、実行委員会で決定する。

5. 規約の改正(案)について
役員の任期(2年)は、副会長については、その限りでないこととする。

原案通り承認。

6. 役員改選

会長・機能部長は留任。副会長は4月選出となる。
今年度も公民館活動へのご理解・ご協力をありがとうございました。

次回の館長会は、4月15日(火)の予定です。

諸塚村自治公民館連絡協議会 会長 大橋 浩啓

諸塚村職員一覧

村の新体制を紹介します。(令和7年4月1日現在)

村長 藤崎 猪一郎

副村長 黒木 裕治

教育長 竹内 一久

◎印は4月1日新規採用職員、太字は4月1日付異動職員、●印は宮崎県からの派遣職員

課名	課長	課長補佐	職員			
総務政策課	甲斐 一喜	甲斐 由高	藤善 知子(議会事務局兼務)	三林 直矢	堀田 純平	松木 良晃
			大石 翼(宮崎県企業振興課派遣)			
企画創生課	中田 康正 (地域DX・情報発信室長)	綾 章司	●小野 将人 (県人事交流派遣)	星川 達哉	岩本 依歩	永岩 亮祐
			中田るみ子	飯干 幸恵	田中 鮎美	浮田 愛美
			近藤 和房	矢野 杏奈	○坂元 純	
住民生活課	田丸 光夫	(福祉) 中本 健太	(保健) 奈須 美香	西山 恵	黒木 真理	黒木真佑美
			井上 穂香			甲斐 智子
産業戦略課	若本 裕貴	藤本 菜美	小川 良樹	吉田 倫子	新元 大樹	柴田 璃子
			藤本 英博(新価値創造室長)	○甲斐 幸一		高山 祐希
建設環境課	橋口 政憲	小川 義宣	日吉啓一朗	黒木 将吾	岩本晋乃助	西田 淳哉
			○甲斐 嵩晟	●三林 丈志(県災害派遣)	※R7年7月まで。以降交代	小城 優太
税務会計課	早川 美奈	黒木由美子 (出納係)	(税務係)	黒木 拓実	○堀吉 夢奈	
議会事務局	松村紀三男	—				
教育委員会 きょういく課	平田 香	八坂 浩一	●谷口 至(県派遣指導主事)	伊藤 聖子	星川さくら	
			(諸塚幼稚園)	中矢 由佳	甲田 清美	山本千利
診療所 所長	桐村 泰廣	—	吉高 幸希			堀田 希美
副所長	中原 雅則	(看護師長) 三浦 繁光	佐藤 友栄	平田 豊子	鎌倉 健一	長代 優子
			戸高 勝徳	染田 良人	金丸 香	伊東 芳政
			森田 美里	甲斐 貴明	藤岡なつみ	小澤 征爾
			小林めぐみ	安藤恵里香	旭 亜純	平川 美保
				○松木 麻美	○伊藤 瑠衣	江藤佳奈子

*退職:令和7年3月31日付

(税務会計課)甲斐 光治

*派遣修了:令和7年3月31日付

(診療所)竹脇 雄太

令和7年4月 教職員の人事異動

転 出				転 入		
学校名	職名	氏名	転出先	職名	氏名	転入元
諸塚小	教諭	杉山 智子	内海小(宮崎市)	校長	ながやま かなえ 永山加奈枝	広瀬小(宮崎市)
	養護教諭	安井 環	赤江小(宮崎市)	養護教諭	うえはら ともこ 上原 智子	高岡小(宮崎市)
	講師	徳田 純一	東小(延岡市)			
荒谷小	講師	甲斐 由真	広安小(益城町)	校長	みなみの まさゆき 南蘭 政幸	狭野小(高原町)
	校長	矢野 健二	都於郡小(西都市)	講師	くろき しょうた 黒木 翔太	
	講師	岡崎 美佐	岡富小(延岡市)			
諸塚中	講師	坂元 夏彦	南方小(延岡市)	教諭	たばる けいすけ 田原 佳亮	串間中(串間市)
	教諭	川越 由紀	久峰中(宮崎市)	教諭	うえはら ゆうすけ 上原 佑介	佐土原中(宮崎市)
	教諭	日高 佑美	木花中(宮崎市)	教諭	おがた さやか 尾方 明香	上野中(高千穂町)

考え方！一般廃棄物最終処分場（シリーズ④） これまでの経過をお知らせします

日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村で構成する日向東臼杵広域連合では、次期広域最終処分場建設について検討を行っています。今回は令和5年4月から令和7年1月までの主な経過をお知らせします。

令和	主な経過（実施月・内容）	
5年	4月	建設候補地において予備調査を開始（翌年3月まで）
	5月	都城市一般廃棄物最終処分場を視察
	6月	次期広域最終処分場整備事業に係る説明会を開催 ・対象：美郷町西郷田代及び耳川内水面漁協
	8月	第3回次期広域最終処分場建設検討委員会を開催 美郷町花水流区にて住民説明会を開催
	9月	美郷町花水流区臨時総会の開催 ・基本同意※の賛否について検討し可決された。 ※基本同意：次期広域最終処分場を候補地に建設することを前提に、令和6年度以降から本格調査を実施することに同意すること。
	10月～11月	耳川下流地域及び耳川内水面漁業協同組合を対象とした住民説明会を開催 ・対象：日向市東郷地区10地区、南部地区6地区 耳川漁協、余瀬・飯谷漁協、美幸内水面漁協
	3月	第4回次期広域最終処分場建設検討委員会を開催 ・予備調査結果報告と次年度以降の調査
	5月	仮迫区住民を対象に次期広域最終処分場整備事業に係る説明会を開催 ・参加人数：12名
	7月	第5回次期広域最終処分場建設検討委員会を開催 ・本格調査（地質調査）計画報告 ・最終処分場型式（オープン型、被覆型）の比較検討 令和6年度第1回花水流区地域協議会を開催 ・第5回次期広域最終処分場建設検討委員会内容報告 ・公害防止協定及び地域振興策について 本格調査（地質調査）開始（翌年3月まで）
6年	11月	第6回次期広域最終処分場建設検討委員会を開催 ・本格調査に関する報告【地質調査（中間）、生活環境影響調査計画】 ・最終処分場施設計画報告
	12月	菊池広域連合一般廃棄物最終処分場を視察 ・参加者内訳：花水流区5名、仮迫区2名、小川区5名、その他17名
	7年	令和6年度第2回花水流区地域協議会を開催 ・第6回次期広域最終処分場建設検討委員会内容報告 ・次期広域最終処分場浸出水処理施設について 生活環境影響調査開始（12月まで）
	1月	

これまでの各検討委員会の会議資料や会議録を広域連合のホームページに公表しています。ぜひ、ご覧ください。



定例教育委員会（3月）の開催について

第8回定例教育委員会を3月19日（水）に行いました。内容は以下のとおりです。次回は、令和7年4月9日（水）の開催を予定しています。

- 協議
 - 次期諸塚村教育大綱（教育振興基本計画）について
- 報告
 - 令和7年4月1日教職員人事異動について

- 会計年度任用職員配置について
 - 特別支援教育支援員の配置について
 - 教育懇談会の開催について
 - 諸塚クロスカントリー大会について
- （教育委員会）

特集 一般社団法人ハチハチの活動に迫る!!

諸塚村や地元企業と様々な取り組みを行い、諸塚村の魅力を村外へ発信し続けている「一般社団法人ハチハチ」

今回は、代表理事の森佑介さんにお話を聞き、その活動に迫りました。

一般社団法人ハチハチ
代表理事 森佑介さん
2017年に東京から移住し、もうすぐ8年。たくさんの村民の皆さんに助けられながら元気にやっています！



諸塚村に移住した経緯

大学生の時に東日本大震災が起きました。震災後の東北での活動や体験から、東京を出て地方で起業することを考えるようになり、日本中の山間地を回りました。そのひとつが諸塚村でした。初めて村を訪ねた際に味わった人間同士の関わりあいや、体験したことのない奥山の暮らしに感動し、移住を決めました。

活動内容とは

移住後すぐに起業したのがハチハチです。ハチハチには数字の88の意味があります。この秘境の地の歴史が88個の集落から始まったこと、そして助け合い支え合い紡がれてきた文化を受け継ぎながら、新しいことに挑戦する意思を込めています。

ハチハチでは行政や地元企業の事業の支援を行っており、活動範囲は多岐に渡ります。現在は移住施策、都市部への情報発信やファンづくり、地鶏の生産・加工・販売を展開する6次産業化などに関わっています。



東京の企業と共に取り組んだ諸塚村でのフィールドワーク。県内外から多数の参加があり、地域の社会課題の解決についてフィールドワークを行った。



興洋開発株式会社と取り組んでいる地鶏の生産・加工・販売

活動していくなかで感じた諸塚村

僕が移住してからの8年で人口は400人ほど減っています。人口減に起因する様々な課題を村は常に抱えています。それでもこの8年、村はいつも驚くほど賑やかでした。人が多いことで生まれるネオンの煌びやかさが都市にあるとしたら、この村には人と人の繋がりから生まれる賑やかさがあります。

先進国で最も人口減少が進展する日本において、人が少なくとも支え合いや信頼関係によって仕事の価値や人間の幸福を創っていくこと、小さな村の日々が日本の未来にとっても重要であると考えています。



活動における今後の展開

村の【人口構成を整える】【仲間をつくる】【外貨を稼ぐ】を重要視し、ハチハチでは活動に取り組んでいます。どれも大切ですが、なかでも昨年から興洋開発さんと共に取り組む地鶏の事業は、裾野の広い食産業を通して、村外に商品を売り外貨を稼ぐだけでなく、食べることを通して村の魅力を伝え、仲間を増やしていく可能性を感じています。

令和7年は加工商品の開発や都市部で村の地鶏を食べていただけるよう営業活動にテコ入れする計画です。美味しい鶏づくりを通じた地域創生を目指していきます。

活動の先に描く諸塚村の未来

この困難な時代に、それでも小さな村に生まれててくれる子どもたちの未来に、ハチハチらしく貢献したいです。東京の大企業を巻き込んだ村の子どもたちへの教育支援や、子どもたちが若い芸術家たちと制作したアート作品の東京展示会などにも取り組んできました。

日本人口のうち山村には僅か3%の人しか住んでいません。その場所に生まれててくれた子どもたちが、諸塚村に生まれたからこそ手にできる可能性を、事業を通じて創出していきます。



東京の企業の支援のもと村の子どもたちと若い芸術家が共に制作したアート作品。JR 高田馬場駅（東京都）で展示会も開催された。

一般社団法人ハチハチ 〒883-1301 宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2640-3

4月の椎茸栽培情報

[森産業] 近年は気温の上昇により季節の進みが早い傾向にあります。植菌は早めに終わらせて本伏せの準備をお願いします。

第3回宮崎経済連乾椎茸入札会結果(椎茸市況)

品柄		箱数	今回	前回	市況
香信	並	大	8品	6,605円	7,028円
		中	29品	7,995円	7,806円
		小	14品	8,184円	8,385円
香菇	並	大	2品	7,869円	8,668円
		中	12品	8,482円	8,875円
冬菇	並		45品	8,089円	9,082円
	小粒		2品	6,677円	8,654円
特用	上	大	1品	6,410円	6,290円
		中	4品	7,067円	7,690円
	並	大	19品	6,360円	6,056円
		中	3品	7,053円	6,118円
その他	ジャミ		21品	6,908円	6,761円
	スライス		7品	7,926円	7,286円
	山成		20品	6,882円	6,963円
	規格外		22品	4,775円	5,812円

入札日:令和7年3月12日(水)

①出品箱数～出品全体209箱／諸塚支店10箱

②高 値～出品全体9,850円 品柄:冬菇 並／諸塚

③平均単価～出品全体

④参加商社～16社

⑤次回入札～下見会：令和7年4月8日(火)／入札会：令和7年4月9日(水)
春子発生遅れにより出品数が少なく、全体的に引き合いが強い強保合市況となりました。一般品の高値が影響しスライスの出品が減少傾向にあることから、スライスも高値となりました。

9日(水)

【日本きのこセンター】

種駒の場合は駒頭部

種駒の場合は駒頭部が白く発菌する状態まで仮伏せ管理を行いましょう。形成菌の場合はフタ材の盛り上がり（ホダ木木口からの発菌）を確認するまで仮伏せ管理を実施してください。

直射日光は絶対に当てない。ネットを使っている場合、ネットの下に笠木を入れるなりして直掛けは避けましょ。

※植菌が遅くなる場合は仮伏せを行わず早めに本伏せを行います。

植菌が遅れる場合の管理
植菌は梅の花が咲く頃からソメイヨシノ
が満開になる頃までが適期とされています。
植菌が大幅に遅れる場合は次の事に注意し
て作業にあたりましょう。

①原木に直射日光が当たると樹皮が過乾燥
となり雑菌の発生が心配されるので笠木
をかけておきましょう。

②植菌列間を4~5cm位に近くします。(1
列増殖) また、死節や枯れ枝等の所にも
雑菌止めに植菌しましょう。

③大径木・老齢木は植菌穴を35ミリ以上の
深めに開け植菌しましょう。

品評会について
宮崎の品評会はその年の全国で最初に開
催される品評会として入札商社も注目しま
す。ぜひ出品して品評会への参加をお願い
します。

川の口公民館がサクラの植樹を行いました



川の口公民館では、令和7年2月15日に公民館に隣接する林地において公益財団法人日本さくらの会より寄贈されたシダレザクラ、カンヒザクラ（各25本）の植樹を行い、併せて獣害対策として、試験的にツリーシェルター（※）を設置しました。

植樹後には館民の方が「数年後の春には、満開のシダレザクラ、カンヒザクラが地域をはじめ村民の皆さんを楽しませてくれるだろう」と話されていました。

寄贈事業を実施しています。記念行事等に活用できますので、希望者は村産業戦略課へご相談ください。
(※山などに植栽した幼齢木に被せる筒の総称。シカやウサギ・ネズミが食べ無いように幼齢木を保護します。)

(産業戦略課)





石元大稀の 諸塙村地域おこし協力隊通信 No.11

まいど！地域おこし協力隊の石元です。梅が咲き、待ちに待った春が来ます。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

2月末から3月にかけて多くの行事や取り組みが続き、あっという間に時間が進んだ気がします。1月、2月、3月は「行く」「逃げる」「去る」などと言います。あらためて身をもって感じた次第です。

この春で私が諸塙に身を移してから丸一年になります。早いようで濃い時間を過ごしたなど、振り返って感慨深く思います。たかだか一年とも言える間にこれまで経験したことがないほど多くの出会いと少しの別れ

を知り、移住の難しさと面白さと、所変わっても変わることのない温かい人情とを余すことなく体験できたと思います。

この一年で村のために何を成したか、そう問われた時にどう答えて良いか分かりません。とにかく理屈や一貫性は抜きに手あたり次第新たな物事に手を出しては散らかしつぱなしの一年で、次年度以降の動きを考える上では大きな反省でもあります。しかしそんな私を温かく見守ってくれた皆様には感謝してもしきれません。本当に一年間お世話になりました、ありがとうございました。

別れの挨拶みたいになりましたが引き続きこの村で活動できたらと思います。来年度からは地域おこし協力隊も増え、新たに村に来る人たちが無理なく馴染めるような動きもできたらと思います。あらためてよろしくお願ひします。ほなまた！

Instagram(インスタグラム)・X(エックス) ユーザー名: moro_okoshitai



村上龍太の 諸塙村地域おこし協力隊通信 No.6

お世話になっております、村上です！

合同展「もろつか四人集」にご来場下さった皆様、誠にありがとうございました！次は期間を延ばして開催しますので、今回ご都合が合わなかった皆様も次回のご参加を是非よろしくお願ひします。「四人集」が終了してすぐに「諸塙山山開き」の開催準備を始め、様々なものを製作させていただきました。初めて取り掛かるものがほとんどでしたが、それぞれ悔いの残らぬよう精一杯取り組みました。中でも「くぬぎ地蔵」のイラストが好評で、このイラストをもとに初の木像をつくる予定です。これらの製作活動が2、3月頃から少しづつ実を結びはじめました。

「四人集」で発表したしいたけ型ツボ押し「なばツボ」もそのひとつで、村内外の方々から少しづつご注文のお声を頂いています。当初は加工のしやすさからスギやマツなどを材料としていましたが、ストーリー性を付加するためにも、しいたけ原木として役目を終えたクヌギやコナラを進んで選んでいこうと考えています。協力隊全体のこととしては、地域おこし協力隊に新しいメンバー2名が加入し、緑のふるさと協力隊も新メンバーとなり協力隊体制が更に整いました！今年度も引き続き、地域のために私ができることを考え行動し、無理せず楽しんで活動に取り組んでいきます。

皆さま、あらためましてよろしくお願ひいたします！



「もろっこ夢応援事業」



本年度の新規事業で、諸塙村の未来を担う子どもたち「もろっこ」の夢実現に向けて、チャレンジし続ける取組を支援し、地域の将来を担う人財を育成することを目的に企画した「もろっこ夢応援事業」を実施しました。※村内在住中学2年生対象。

今年度は、諸塙中学校2年の中本海羽さんが、3月1日（土）、2日（日）の2日間に渡り株式会社ソラシドエア様の全面的な協力のもと、客室乗務員（CA）体験をしました。内容は、業務見学・お客様へのサービス体験等で、本県出身の現役のCAさんから、様々なことを教えていただき、充実したものになりました。今回の体験を受け、本人も「これから、夢や目標にもっと真剣に向き合い、たくさんチャレンジしていきたい」との思いをもつことができました。次年度も、村内中学2年生を対象に夢応援事業を継続します。

また、今回の体験を、令和7年度ふれあいもろつか村民大会で、中本さんが発表する予定です。
(教育委員会)

第40回諸塙山山開き



3月9日、第40回諸塙山山開きが開催されました。当日は雲一つない快晴に恵まれました。記念すべき40回目の山開きには、昨年度を超える700名の方がお越しくださいました。

神事の後、村観光協会の尾形浩一理事長と藤崎猪一郎村長の主催者挨拶に続き、朝日新聞社宮崎総局の後藤たづ子様から祝辞をいただき、「山の誓い」を諸塙中学校の黒木梁太郎くんが元気よく爽やかに朗唱しました。そして恒例のウッドカットで登山を開始しました。山頂では朝日新聞社によるヘリコプターからの記念撮影がありました。

緑地広場では、商工会婦人部による甘酒のふるまいや、加工グループなどが出店し、多くの方が諸塙の森の恵みに舌鼓を打っていました。また、今回は新しくihi coffee様と興洋開発様に出店していただき、コーヒーや地鶏は登山客の方に好評でした。

40回目を記念した歴代のペナントの展示や宮崎大学のインターン生による移住定住に関するアンケート企画なども多くの方に足を運んでいただきました。

41回目の来年度以降も訪れた方が楽しめるイベントを企画する予定です。村民の皆様も是非足を運んでください。
(企画創生課・観光協会)

【総括】

令和7年度の諸塙村一般会計当初予算額は40億8,500万円です。令和6年度の当初予算額55億3,900万円より、14億5,400万円、率にして26.3%の減額となりましたが、令和5年度及び令和6年度からの繰越事業を含めると70億を超える過去最大の執行予算規模となります。

前年度予算に対して、義務的経費のうち人件費や扶助費が増額となり、投資的経費のうち普通建設費が増額となりましたが、令和4年台風14号及び令和5年台風6号の災害復旧事業の一部完成により、災害復旧事業費が大きく減額となりました。

内容につきましては、ひきつづき台風災害からの復興を第一とし、生活福祉や高齢者、子育て支援の充実、商工業活性化支援や林道の整備などの産業振興推進、Uターンを含めた移住定住支援など、「新生諸塙」として住民の視点に立った予算となっています。

【歳入の特徴】

- 地方譲与税は森林環境譲与税が増額となりました。
- 地方交付税のうち特別交付税は地域おこし協力隊等の措置分を見込み昨年度より増額となりました。
- 国庫支出金は災害復旧事業の一部完成により減額となっています。
- 災害復旧事業の財源確保のため財政調整基金、地域振興財源として森林郷創生基金から基金繰入金を計上しています。
- 今後も村債や基金をうまく活用しながら、バランスよく財政の運営をしなければなりません。

【歳出の特徴】

- 義務的経費では、給与の改定や手当の支給などにより人件費及び扶助費が増額となっています。
- その他の経費では、物件費が行政システムの改修などにより増額、維持補修費が庁舎のLED化などにより増額となっています。
- 投資的経費のうち普通建設事業費は、村道の舗装事業等により増額となっています。
- 災害復旧事業費は令和4年台風14号及び令和5年台風6号の災害復旧事業の一部完成により減額となりました。
- 農林水産業費は林道開設改良補助事業が増額となり、森林整備や椎茸振興事業につきましては、これまで同様に計画的に行います。

村道などの生活基盤となる施設の整備を計画的に継続していくとともに、更に産業の振興・地域の活性化に向けて取り組むこととなります。しかしながら、老朽化した施設の維持補修経費の確保が必要となってきており、医療・福祉に対する負担も大きくなることが予想されます。今後もより一層、財源の確保と適正な予算の執行をしなければなりません。

令和7年度 一般会計予算 岁出(性質別) 単位:千円

項目	予算額		増減
	令和7年度	令和6年度	
人件費	596,873	521,473	75,400
扶助費	143,450	136,238	7,212
公債費	350,150	354,374	▲4,224
物件費	584,143	546,910	37,233
維持補修費	68,568	44,437	24,131
補助費等	598,953	579,626	19,327
繰出金	215,079	253,262	▲38,183
積立金	19,061	5,764	13,297
出資貸付金	23,760	13,520	10,240
普通建設事業費	394,668	211,547	183,121
災害復旧事業費	1,080,295	2,861,849	▲1,781,554
予備費	10,000	10,000	0
合計	4,085,000	5,539,000	▲1,454,000

令和7年度 特別会計・公営企業会計予算 単位:千円

会計名	予算額		増減
	令和7年度	令和6年度	
国民健康保険	285,500	289,300	▲3,800
後期高齢者医療	38,600	34,300	4,300
介護保険	276,471	279,762	▲3,291
診療所事業	366,000	353,000	13,000
特別会計合計	966,571	956,362	10,209
特定環境保全公共下水道事業	50,257	25,867	24,390
簡易水道事業	62,771	40,257	22,514
発電事業	9,299	6,022	3,277
公営企業会計合計	122,327	72,146	50,181

※令和7年度全体予算額 単位:千円

一般会計	4,085,000
特別会計合計	966,571
公営企業会計合計	122,327
合計	5,173,898

* 特定環境保全公共下水道事業、簡易水道事業、電気事業会計は令和7年4月より公営企業会計に移行します。

単位:千円

令和7年度 主な事業(一般会計)

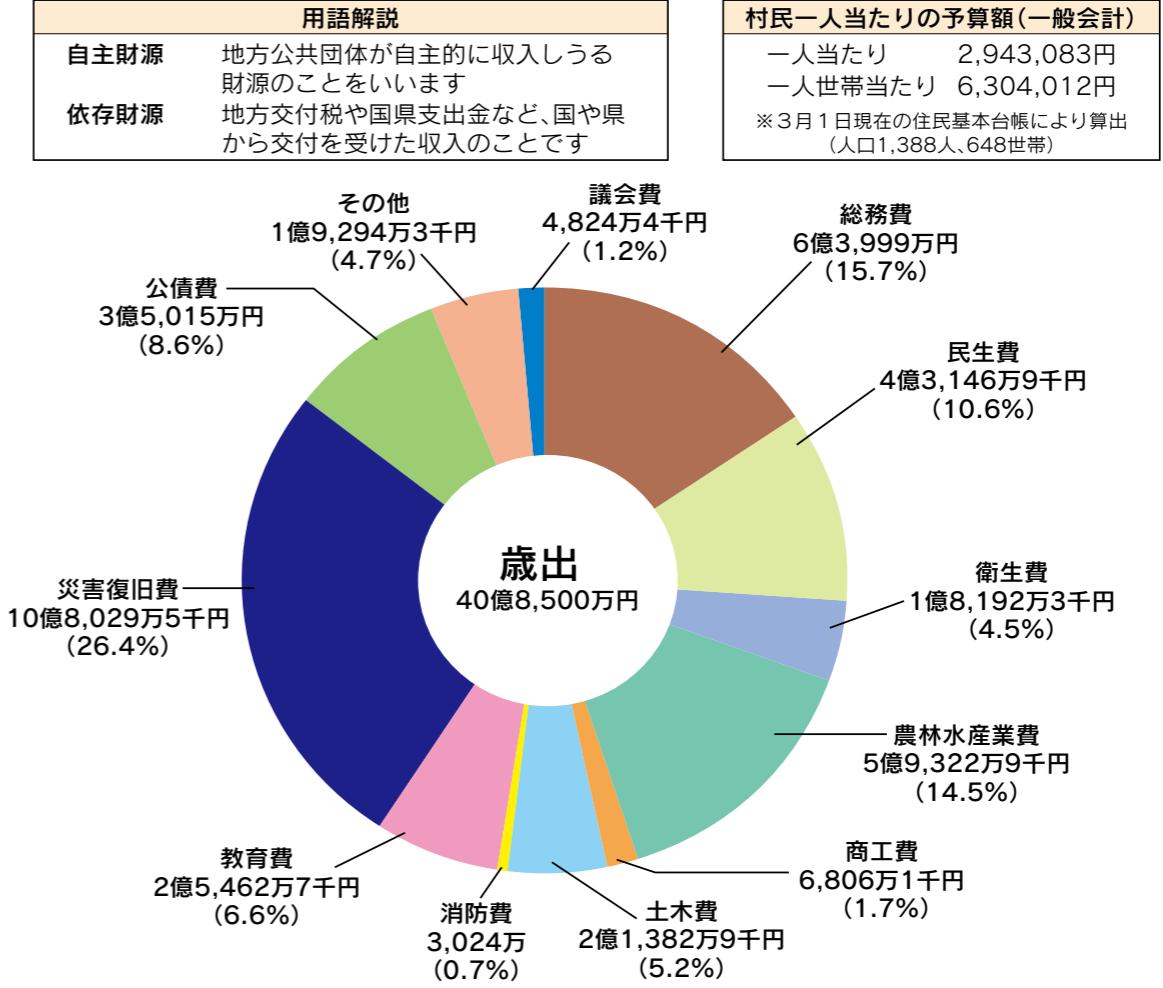
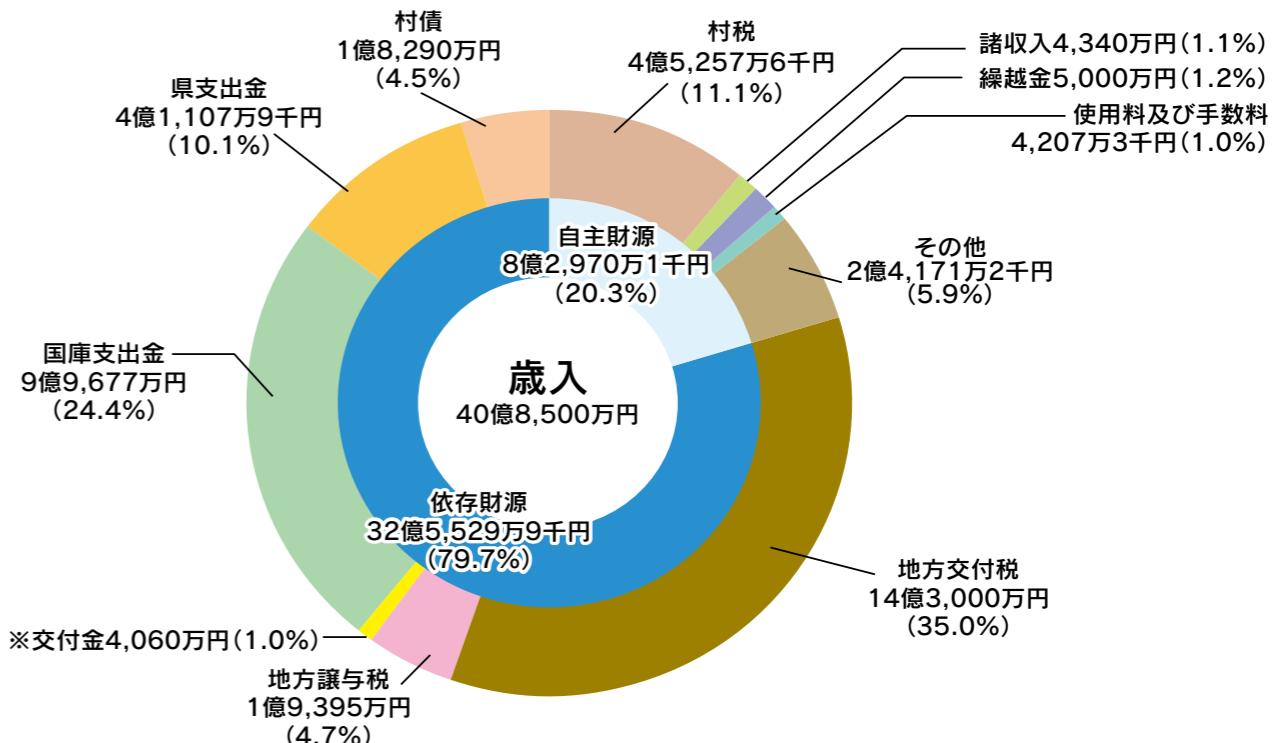
事業名	予算額	単位:千円	総務政策課	企画創生課	住民生活課
			公債費	災害復旧費	税務会計課
廃止路線代替バス運行費補助事業	13,200				
地方バス路線維持費補助	13,000				
庁舎LED更新工事	6,700				
JJ'フォート受信機更新業務	3,400				
地域おこし協力隊受入事業	7,700				
特定地域づくり協同組合事業補助金	2,200				
新生諸塙PR動画作成業務	3,000				
割引商品券発行事業	11,000				
森林空間活用プロジェクト	2,000				
商工業活性化支援事業	6,400				
山村農林業インターンシップ事業	3,200				
移住支援事業	7,300				
戸籍管理システム標準化関連事業	23,200				
障がい者自立支援事業	79,600				
高齢者福祉事業	76,500				
児童手当支給事業	22,400				
子育て事業(児童手当以外)	54,700				
健康増進事業(健康診断・健診事業)	11,800				
予防接種事業	38,700				
環境衛生事業(ゴミ、リサイクル、浄化槽等)	98,000				
飲料水供給事業	1,600				
固定資産税電算入力業務	3,800				
固定資産税評価適正化事業	3,000				
きよいく課	300				

*各事業の予算額は、十万円未満で、端数切り捨てにより転記しています。

令和7年度 諸塙村一般会計当初予算

40億8,500万円

前年度比 14億5,400万円(26.3%)減



*歳入の交付金のうち地方消費税交付金(社会保障財源分1,700万円)については、歳出の民生費(社会福祉費)の経費に充てられています。

補助事業名	対象者	事業内容	準備書類	申請時に必要なもの	担当係
遠方分娩施設への交通費・宿泊費支援事業	出産する病院等まで60分以上の移動時間を要する妊婦	出産時の移動の交通費-2,400円 医師が出産前に宿泊(入院を除く)が必要と言わされた場合等の宿泊費-1泊9,000円	×	申請書 母子手帳 通帳のコピー	保健予防係
小児慢性特定疾病等交通費助成事業	小児慢性特定疾病等で定期的に通院する高校生年齢以下の児をもつ家庭	1回の通院につき、規定の交通費を支給。 高速道路、公共交通機関利用の場合は、実費を支給。	○	医療機関の受診証明書 申請書 通帳のコピー	保健予防係
任意予防接種助成事業	麻しん風しん 18~45歳の方 おたふく風邪 1~45歳の方 帯状疱疹 50歳以上の方	麻しん風しん-1回6,500円を助成 おたふく風邪-1回4,500円を助成 帯状疱疹 諸塙診療所で接種した場合に限り1/2額を助成。	×	麻しん風しん・おたふく風邪のみ 申請書 接種記録のわかるもの(母子手帳等) 通帳のコピー	保健予防係
骨髓等移植ドナー助成支援事業	骨髓バンクの実施する骨髓移植のドナーとなつた方及び勤務する事業所	○ドナー 通院・入院1日2万円補助(上限7日) ○ドナーが勤務する事業所 通院・入院1日1万円補助(上限7日)	○	骨髓移植の完了を証明する書類 通院等の日数を証明するもの等	保健予防係
合併処理浄化槽設置整備事業	村内に居住する方で、住宅及び店舗等に合併処理浄化槽を設置する方	○新設(5人槽)に関する補助額 住宅:新設890千円 単独切替990千円 ○補修・改修に関する補助率 老朽化 住宅70% *店舗等、災害時は別内容で助成あり	○	見積書 申請書等 事前に衛生係へ相談をお願いします。	衛生係
簡易給水施設整備事業	地元管理の施設で、漏水等により水量の減少や汚濁、又は自然災害及び渴水等により緊急を要する施設の新設及び修繕	○水道施設整備 補助率 施設の新設、水源地改修、自然災害 99% 施設の修繕、メンテナンス 70% 個人負担額の上限-1世帯当たり1万円 ○管理道整備 補助率 対象経費の70%以内。補助額上限50万円	○	見積書 申請書等 事前に衛生係へ相談をお願いします。	衛生係
共同墓地等整備事業	村内居住者で共同墓地等を整備する方	補助上限-墓地区画数×5万円 共同墓地や整備の関係者全員の同意書が必要です。	○	申請書 見積書 着工前の写真 請求書 領収書 完成後の写真	衛生係

朝ごはんで体のリズムを整えて、疲れにくいからだを作ろう！

春は、気候はもちろんのこと、新しい職場や新しい仲間、引越しなど「変化」の多い季節です。体のリズムを整えて、春の不調を乗り越えましょう。

朝ごはんの役割
朝ごはんを食べることで、**脳の働きが活発となり、やる気や判断力が上がりります。**体温も上昇し、血流がよくなります。また、噛むことにより**脳や胃腸を刺激し、朝の排便にもつながります。**生活のリズムを整えるために、朝ごはんは欠かせません。

どんな朝ごはんがいい？
夕食でとったエネルギーは、寝ている間にすべて使われてしまい、朝には残っていません。元気に活動するためには、まず**脳のエネルギー源となるごはん、パン、めんなどの糖質を食べる必要があります。**



朝ごはんのポイント

~まずは、ひとくちから。

そして食べた自分をほめよう♪~

忙しい朝でも栄養バランスの良い朝ごはんを食べたいものです。
3日坊主にならないためにには、無理せず、少しずつステップアップしていくことが大切です。

ホップ！主食

まずは食べる習慣をつけましょう。脳のエネルギー源となる糖質を多く含む主食を食べることで、朝から活動的に過ごせるようになります。

ステップ！主食+1品 (主菜or副菜or果物or牛乳・乳製品)

毎日、ごはんやパンだけ食べる習慣がある場合は、何かもう1品加えてみましょう。主菜、副菜、果物、牛乳・乳製品から食べやすいものをプラスすることで、栄養バランスがぐんとアップします。

ジャンプ！主食+2品 (主菜or副菜or果物or牛乳・乳製品)

さらに1品プラスすると、栄養バランスだけでなく、食事としての満足度もアップします。主食、主菜、副菜のそろった朝ごはんを目指しましょう！



～保健だより～

○4月の行事予定 乳・子宮頸部がん検診、骨密度検査…4月23日(水):諸塙村民体育館

○住民生活課 各種補助事業一覧

住民生活課で行っている補助事業を、一覧にしてご紹介します。
補助内容は、スペースの都合上最小限の情報を記載していますので、詳細は住民生活課(☎65-1119)までお問い合わせください。特に準備書類の項目に○がついているものは、医療機関等に記載して頂く書類がありますので、事前に住民生活課にお問い合わせください。

補助事業名	対象者	事業内容	準備書類	申請時に必要なもの	担当係
高齢者バス定期券購入費補助事業	①70歳以上の者 ②65~69歳で運転免許を持たない方	宮崎交通6ヶ月定期券10,000円補助 (15,000円のうち、5,000円は自己負担・年2回まで)	×	申請書	高齢者福祉係
あん摩・マッサージ・はり・灸・に要する費用の助成事業	● 村事業 70~74歳の方 ● 後期高齢事業 75歳以上の方	1回1,000円、年24回を上限として助成。 病院受診状況等で対象にならない場合もあります。 申請日からの助成になりますので、必ず受診前に窓口におこしください。	×	申請書 70~74歳の方は、年度末に利用者証を住民生活課までご提出ください。	高齢者福祉係
介護支援専門員資格取得者ならびに取得しようとする方	介護支援専門員資格取得者ならびに取得しようとする方	実務研修受講費、試験費、更新にかかる研修受講費等に対し、上限10万円補助	×	申請書 領収証	高齢者福祉係
介護職員等緊急確保特別対策事業	せせらぎの里に採用となった1~5年目の介護職員	初年度・1年目終了後-100,000円 2~5年目終了後-200,000円を支給	×	せせらぎの里と連携して申請手続きを行います。	高齢者福祉係
高齢者世帯エアコン整備事業	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯	村内事業所でエアコンを購入・設置した場合に、72,000円を上限として助成。	×	申請書 領収書	高齢者福祉係
介護用品購入助成事業	在宅生活されている要介護1~5と認定されている方	介護用品(紙おむつ、尿取りパッド等)の購入費に対し、上限50,000円助成。	×	申請書 領収証	高齢者福祉係
腎疾患者に対する通院費助成	血液透析を受けている方	1キロ当たり30円として、自宅-病院までの往復にかかる通院費を助成。公共交通機関、病院の送迎車を利用する場合には規定の額を助成。	○	該当の方には年に1回住民生活課から申請書をお送りします。	障がい福祉係
精神障がい者通院等交通費支給助成	精神疾患があり、治療中の方	精神科の受診に係る交通費のうち、乗り合いバスの運賃を基準として1/2を助成。	○	該当の方には年に1回住民生活課から申請書をお送りします。	障がい福祉係
高齢者補聴器購入助成事業	65歳以上で、聴覚障害で身障手帳を受給していない方	購入費から自己負担額10,000円を控除した額のうち、50,000円を上限として助成。 必ず購入前に住民生活課へご連絡ください。	○	医師が作成した意見書(様式は窓口でお渡します) 見積書 通帳のコピー	障がい福祉係
ひとり親家庭医療費助成事業	20歳未満の子を養育するひとり親家庭	医療費自己負担額から月額1,000円を控除した残りの額を助成。	×	申請書 領収書 通帳のコピー	母子福祉係
母子寡婦医療費助成事業	60~69歳で法で規定する母(父)子・寡婦(夫)に該当する方	医療費自己負担額から月額1,000円を控除した残りの額を助成。	×	申請書 領収書 通帳のコピー	母子福祉係
不妊治療費助成金給付事業	医療機関で不妊治療を受けている夫婦(妻が43歳まで)	一般不妊治療、特定不妊治療ともに、医療保険適応治療の自己負担額の9割	○	医療機関にて作成して頂く書類 領収書のコピー 通帳のコピー等	保健予防係
妊婦・産後健診等交通費助成事業	妊婦・産後健診受診券で医療機関を受診する妊産婦	妊婦・産婦健診1回当たり2,000円。 ただし、村が交付した妊産婦健診受診券を使用して受診する場合に限る。	×	申請書 母子手帳 通帳のコピー	保健予防係

県森連 東郷 共販速報

〈樹種〉スギ

長級	径級	中値	長級	径級	中値
3	7下	本44	4	8下	本200
	8~11	5,000		9~11	本300
	12~13	12,000		12~13	13,800
	14	14,800		14	14,700
	16	14,800		16	14,700
	18	14,300		18~22	14,200
	20~22	14,500		24~28	14,200
	24~28	15,000		30~34	13,500
	30~34	13,300		36~38	13,200
3曲	14	12,000	4曲	12~13	13,800
	16	12,000		14	12,800
	18	12,000		16	12,800
	20~22	12,000		18~22	13,000
	24~28	12,000		24~28	12,800
	30~34	12,000		30~34	12,500
	6	18~22		36~38	12,900
樹種等		大曲C材を除く単価	平均単価(一般材)		
スギ		13,518	12,955		
ヒノキ		21,193	18,838		



村の人口	*	()	は先月比
令和7年3月1日現在			
男	642	(-2)	
女	639	(-6)	
計	1,282	(-8)	
世帯数	572	(-3)	

おくやみ

佐藤 利光さん	95歳	小原井
西田 永子さん	74歳	南川
若本 幸重さん	99歳	家代
甲斐 重利さん	86歳	川の口

善意をありがとう

香典返し寄附金	藤本 溫様	黒葛原
	尾川 林様	立岩
	西田 恵様	南川

皆様からのご芳志は、村内福祉事業のために活用させていただきます。心から厚くお礼申し上げます。

村民憲章

- ◎郷土を愛し、美しい自然を守りましょう。
- ◎教養を高め、心豊かな人になりましょう。
- ◎健康につとめ、明るい家庭をつくりましょう。
- ◎生産にはげみ、伸びゆく村に育てましょう。

4月 中央公民館図書だより



** こどもの読書週間 4月23日~5月12日 **

「こどもの読書週間」は、子どもの読書活動についての関心や理解を深めることを目的としています。

村では、第2次諸塙子ども読書活動推進計画(R4~R9)を策定し、家庭・学校・地域等が連携、協力して読書活動を推進、読書に親しむ場を提供することを基本方針として取り組んでいます。家庭や地域の皆さんで読書から得られる内容や効果について考えてみませんか。

新刊紹介

今年の本屋大賞ノミネート作品を含む、新刊図書を購入しました。本屋大賞ノミネート作品は、全国の書店員の方々が自分で読んで「面白かった」、「お客様に薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選んだものです。皆さんもぜひ、読んでみてください。

書名	著者	出版社
アルプス席の母	早見 和真	小学館
カ夫ネ	阿部 晓子	講談社
禁忌の子	山口 未桜	東京創元社
恋とか愛とかやさしさなら	一穂 ミチ	小学館
小説	野崎 まど	講談社
spring	恩田 陸	筑摩書房
生殖記	朝井リョウ	小学館
人魚が逃げた	青山美智子	PHP研究所
C線上のアリア	湊 かなえ	朝日新聞出版
口外禁止	下村 敦史	実業之日本社
とびきりおいしいおうちごはん: 小学生からのたのしい料理	野村 友里	小学館クリエイティブ
ミスター・チームリーダー	石田 夏穂	新潮社

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 休
6	7	8	9	10	11	12 休
		○	○	○	○	△
13	14	15	16	17	18	19 休
	○	○	○	○	○	△
20	21	22	23	24	25	26 休
	○	○	○	○	○	△
27	28	29	30			
	○	休	○			

中央公民館開館時間

○ 平日…午前9時~午後5時30分

△ 第2・4土曜日…午前9時~午後4時



ビリーのALTだより

次号の新しい英会話スケジュールに注目してください。

なんでも
も字園
えいかわ
英語を勉強
ましょう



2月に私は日向市役所が主催する国際イベントに招待され、韓国やベルギーからのプレゼンターたちと一緒に講演しました。異国文化がいかにユニークで、また多くの点で共通点をみつけることができた素晴らしいひとときでした。日向の特別ダンスグループがアフリカの太鼓を演奏しながらダンスを披露しました。

幼稚園の最後の授業の後、素敵なお帽子と花をプレゼントしてもらいました。今回は、果物と交通について学びました。





感動に満ちたお別れ遠足!!

2月28日は、お別れ遠足でした。旧七ツ山小学校を訪問して、活動しました。今回は、寿会の皆様が大勢参加してくださいました。1・2年生は昔の遊び(コマ回しやオジャミ、メンコ、竹とんぼなど)と一緒に行い、飛ばし方や投げ方のコツを教わっていました。

3・4年生は、ゲーム(ディスゲッター、スカットボールなど)を中心に高齢者の方とチームを作りながら競いました。5・6年生はグラウンドゴルフを実施しました。さすがにコツをつかむと上手に打ち、少ない打数で終える児童もいました。帰りには、「何度もやってほしい!」「また、お願いします。」など嬉しい言葉をいただきました。ありがとうございました。

最後に、お別れ集会をしました。今まで支えてくれた6年生へ向けて、在校生がお礼の言葉を述べました。感極まり、思わず涙する場面もあるなど、感動する素敵なお別れ集会でした。6年生ありがとうございました!!



▲寿会の方々と談笑



▲お別れ集会の一場面



▲令和6年度 卒業生



卒園式がありました。

令和6年度の卒園式が3月8日に行われました。今年度の卒園児は6名でした。卒園児入場では、はずかしそうに、足早に歩いて席に着いていた子ども達。しかし、卒園証書授与で、名前を呼ばれると、元気な返事で、前に進みて、落ち着いた様子で卒園証書をもらう事ができました。

所長先生のお祝い挨拶の時には、子ども達の緊張もほぐれたのか、所長先生に話しかけたりして、笑いが出て、式場が一時和やかになりましたが、その後のお別れのことばや歌は、6人とは思えないくらい元気な声で上手に歌えていました。最後に、保護者代表の挨拶で、心温まる感謝のお言葉をいただき、職員も、保護者も子ども達の成長をしみじみ感じながら、涙が出る場面もあり、短い時間でしたが、すてきな卒園式になりました。



東郷町に遠足に行ってきました!



3月7日(金)に東郷町の笹木野いちご園と牧水公園に遠足に行ってきました。早春らしい快晴で風もなく、最高の遠足日和でした。いちご園では、美味しいいちごにみんな満面の笑み、ヤギとのふれあいもあり、とても充実した時間を過ごすことができました。

牧水公園では坪谷小学校の児童と出会い、なんとお互い全校児童9名という偶然も重なり、いきなりドッジボール大会が始まりました。残念ながら荒谷小の敗北となりましたが、試合後、荒谷小がリズムダンスを、坪谷小が牧水の短歌の朗詠を披露し、心温まる交流ができました。笹木野いちご園の方々、坪谷小の皆さん、楽しい時間をありがとうございました。



15の春

3月16日(日)、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様に見守られる中、第78回卒業式を実施しました。厳粛な雰囲気の中にも、温かみのある本校らしい卒業式となりました。卒業生9名は堂々とした態度で卒業証書を受け取り、ひとつひとつ返事や所作からは卒業生としての自覚と誇りがうかがえました。

在校生代表送辞では、黒田琉夏さんがこれまで学校を引っ張ってくれた卒業生のリーダーシップと後輩への優しい言葉かけに感謝を伝え、諸塙中学校の伝統を引き継いでいく決意を述べてくれました。

また、卒業生を代表して黒木梁太郎さんが、3年間の思い出を振り返り、後輩、保護者・地域の方々への感謝を伝え、卒業生9名の絆を感じることのできる答辞を堂々と精一杯の思いを込めて読み上げてくれました。

15の春を迎え、卒業生はそれぞれが選んだ道に進むため諸塙村を一旦離れることになります。家族と離れることで不安に感じることもあると思いますが、ふるさと諸塙で学んだことを生かし、力強く前へ進んでくれることを願っています。

地域の皆様には、これまで卒業生に対し多大なご支援をいただき誠にありがとうございました。

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ大会にむけて

令和7年3月6日に「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ大会への多様な関わり方」と題し、中屋敷教諭が授業を行いました。国スポ・障スポは、2027年(令和9年)に本県で開催されます。約80万人が本大会に関わると予測されています。大会期間中は多くの方が来県され、県内全市町村で大会が開催されることになります。

諸塙村も「スポーツ玉入れアジャタ」の会場となっています。このような国内最大級のスポーツイベントを成功させるには、地域の人々の協力が必要不可欠です。生徒たちには「する」「見る」「支える」「知る」の視点でこの大会へどう関わるのかを考えていきました。生徒一人一人が現在の自己の立場を考え意見を出したり、他人の意見を参考にして考えたりし、とても深まりのある授業となりました。また、これまでの学習で見つけた村の課題である「村の人口減少」と結びつけ、諸塙の良さをアピールし、移住者を増やす良い機会だと考えた生徒もいました。



むらの話題～Topics～

「第一回 もろつか四人集 ～山の匠と青草展～」を開催しました



2月22日(土)～24日(月)の三連休を利用して、村内在住の4人の作家による合同展「第一回 もろつか四人集～山の匠と青草展～」を開催しました。

この催しを企画した経緯は、協力隊の先輩である石元隊員からご紹介をいただいた山の匠、黒葛原の奈須隆生さんと八重の平の田原成人さんに出逢い、このお二方の素晴らしい芸術感を村外の人達にも発信したい！協力隊2名も参加させていただき、4人で芸術展をスタートさせたい！と思ったことが発端でした。

企画・運営・広報などを担当させていただき、何とか無事に、そして好評にて終了した事を有難く思います。ご協力をいただいた皆さま、ご来場をいただいた皆さま、そして参加してくださった作家さんに感謝申し上げます。

期間中の来場者数はアンケート上では89名でしたが、アンケート未記入分も含めると、目標人数100名を優に超えていたと思います。また、今回は各作家の作品販売も行い、目標販売点数20点を大きく上回り83点の作品を購入していただきました。奈須隆生さんからはご自身の山で大切に管理されている「クロモジ」を使用したスプーン・フォーク・箸や「クロモジ茶」の試飲を提供して頂き、その美味しさに多くの方々から反響を頂いていました。

今回の合同展がきっかけとなり村内外の作家さん達と繋がることが出来たので、次回も心踊るような楽しい会を企画します！

(地域おこし協力隊 村上 龍太)

第31期緑のふるさと協力隊 活動報告会が開催されました

2月28日(金)、中央公民館で第31期緑のふるさと協力隊である垣内麻梨乃隊員の活動報告会が開催され、70人を超える方が参加されました。

垣内隊員は、諸塙村で特に印象に残った事として、茶摘みから人との縁がつながっていったことや生コン舗装、夜神楽への参加、神仏や先祖に対して身近に感じている事を挙げていました。様々な体験から、自分たちの手で自分たちの暮らしを作る所や人との繋がりが深い所に諸塙の魅力を感じたそうです。活動を通して、視野が広がり、自己肯定感も上がるなど、自分自身の変化もあったようで、今後は地元である福井県に戻り、農業法人への就職を目指すとの事でした。最後に「常にやってみたい事・興味のある事を取り入れて楽しめる人生を歩みたい。諸塙にはぜひまた遊びに来たい。」と締めくくりました。その後、質疑応答がなされ、飲み会の多さに驚いたことや、活動先への移動中に見る景色の移り変わりが楽しかったとの話もありました。

会の最後には、黒木副村長より、積極的に活動してくれた隊員及び隊員を受け入れてくれた村民の皆様へのお礼の挨拶があり、盛況のうちに閉会しました。

開場には、垣内隊員が1年間の活動の中で制作した手芸・工芸品や、掲示物の展示もあり来場した方と思い出話に花を咲かせていました。

(産業戦略課)



編集後記

あっという間に3月が過ぎ、新年度を迎えました。3月は、別れの季節ということで、私のいる実行組合で、諸塙を出られる方の送別会がありました。近所の人で集まって送別会をするというのは初めての経験だったので、これが諸塙なのかと温かさを感じたところでした。

新年度も、諸塙を感じながら、魅力を伝えられるよう頑張りたいと思います！

